

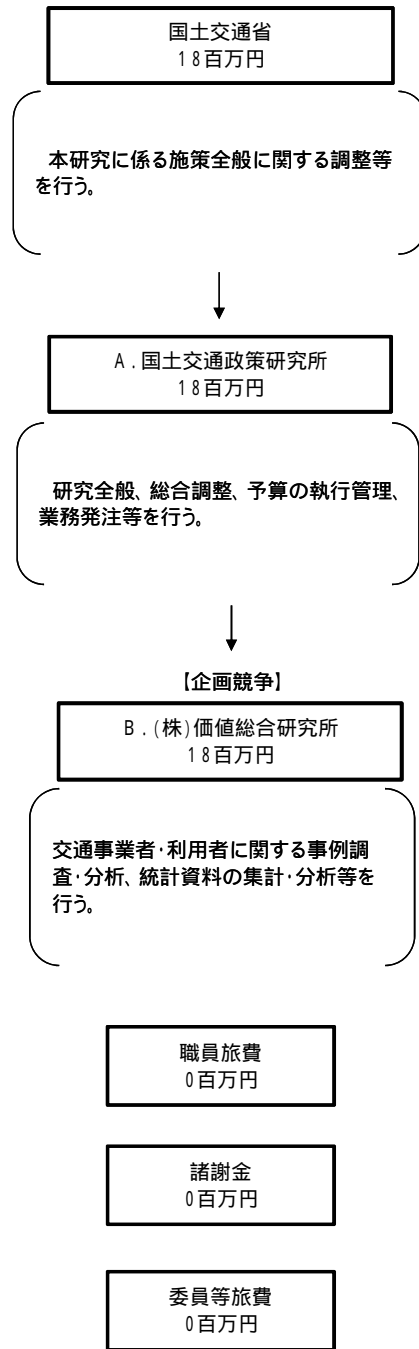
平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>	少子高齢化・人口減少社会における交通政策に関する調査研究		<b>担当部局</b>	国土交通政策研究所		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	H20/H22		<b>担当課室</b>	-		研究調整官 笹山 博		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	2-3 総合的なバリアフリー化を推進する 8-31 都市・地域における総合交通戦略を推進する 8-30 地域公共交通の維持・活性化を推進する				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	バリアフリー新法、ユニバーサルデザイン政策大綱				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	少子高齢化・人口減少社会を迎え、社会や経済の活力を持続することが厳しい状況となっている中、人や物の流れを支える交通について、利用者等の現状や動向の分析を行い、国民のニーズにより的確に応える交通サービスの提供や交通サービスの持続的な確保の検討に資する調査研究を行う。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	子どもからお年寄りまで、だれでも便利で快適に移動できる社会を目指すことが重要となっており、特に、駅やバス停、公共施設等の周辺では、バリアフリー化が進められている。バリアフリー化によって利用者の意識や行動がどのように変化したかを把握するため、高齢者や子育て世代を対象としたアンケート調査、商店街等へのアンケート調査や鉄道駅の乗降客等の分析を行い、鉄道駅等のバリアフリー化による外出促進や地域活性化への効果等を分析するとともに、交通事業者に対するアンケート調査を行い、利用者利便性の向上を図る情報提供のあり方等について検討を行った。							
<b>実施方法</b>	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算	21	19	18	-	-	
		補正予算	0	0	0	-	-	
		繰越し等	0	0	0	-	-	
	計	21	19	18	-	-		
	執行額	18	18	18	-	-		
執行率(%)	85.7%	94.7%	100.0%	-	-			
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (22年度)	
	調査検討の報告数		成果実績	件	0	0	1	1
			達成度	%	-	-	100	-
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	調査検討の報告数		活動実績 (当初見込み)	件	0	0	1	-
						( 1 )	( - )	
<b>単位当たりコスト</b>	(円 / )		算出根拠	国土交通省の所掌事務に係る政策に関する基礎的な調査及び研究であり、単位あたりコストの概念が当てはまらないため。				
<b>平成23・24年度予算内訳</b>	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	研究の評価実施要領を定め予算の適切な執行や研究成果の向上を図っている。
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	事業廃止との評価結果を受けて、本調査研究は平成22年度で終了するとともに、研究成果をとりまとめ、ホームページ等への掲載等により広く情報発信を行っている。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止		平成22年度行政事業レビュー結果を踏まえ、事業廃止とする。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成23年度以降の予算要求なし。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.国土交通政策研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負	調査研究	18			
その他	諸謝金	0			
その他	職員旅費	0			
その他	委員等旅費	0			
計		18	計		0
B.(株)価値総合研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負	交通事業者・利用者に関する事例調査・分析、統計資料の集計・分析等を行う。	18			
計		18	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)価値総合研究所	交通事業者・利用者に関する事例調査・分析、統計資料の集計・分析等を行う。	17.955	随意契約 (企画競争・ 15者応募)	99.7
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					